

4.3. Ambiguity

- (1) a. かわいい女の子が立っている。
b. リボンをつけた女の子が立っている。
- (2) a. $x([x=\text{女の子}] \& [x=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
b. $x([x=\text{女の子}] \& [x=\text{リボンをつけた}]) [x \text{ が立っている}]$ ¹
- (3) リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。
- (4) $x \ y([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [y=\text{リボンをつけている}]) [x \text{ が立っている}]$
- (5) $x \ y([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [x=\text{リボンをつけている}]) [x \text{ が立っている}]$
- (6) (i) 次の (ii) の状況の場合、(4)の読みならば、(3)の文はウソになる(false)が、(5)の読みならば、(3)の文はウソにならない(true)。
(ii) 犬を抱いた女の子が立っている。女の子はリボンをつけているが、犬はリボンをつけていない。
- (7) (i) 次の (ii) の状況の場合、(4)の読みならば、(3)の文はウソにならない(true)が、(5)の読みならば、(3)の文はウソになる(false)。
(ii) 犬を抱いた女の子が立っている。犬はリボンをつけているが、女の子はリボンをつけていない。
- (8) (i) 次の (ii) の状況の場合、(4)の読みでも、(5)の読みでも、(3)の文はウソにならない(true)。
(ii) 犬を抱いた女の子が立っている。犬も女の子もリボンをつけている。
- (9) (i) 次の (ii) の状況の場合、(4)の読みでも、(5)の読みでも、(3)の文はウソになる(false)。
(ii) 犬を抱いた女の子が立っている。犬も女の子もリボンをつけていない。
- (10) 真理条件が異なっていれば、音の上で区別できなくても、「別の文」である。²

¹ 厳密には、「リボンをつけた」という部分もさらに分析されるべきだろうが、ここでは、その内部構造は問題にしないので、このままにしておく。

² 「別の文」が同じ真理条件を持つ可能性を否定していないことに注意すること。

- (11) a. 真理条件が(4)であるような「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」
b. 真理条件が(5)であるような「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」
- (12) a. $[x \ y \text{ リボンをつけた犬}]\text{を抱いた女の子}]\text{が立っている。}$
b. $[x \text{ リボンをつけた}]\text{犬}]\text{を抱いた女の子}]\text{が立っている。}$
- (13) 「リボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。」という文は ambiguous である。
- (14) かわいい犬を抱いた女の子が立っている。
- (15) a. $x \ y([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [y=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
b. 「犬を抱いた女の子が立っている。女の子はかわいいが、犬はかわいくない」という場合は、(a) は false。
c. 「犬を抱いた女の子が立っている。犬はかわいいが、女の子はかわいくない」という場合は、(a) は true。
- (16) a. $x \ y([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [x=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
b. 「犬を抱いた女の子が立っている。女の子はかわいいが、犬はかわいくない」という場合は、(a) は true。
c. 「犬を抱いた女の子が立っている。犬はかわいいが、女の子はかわいくない」という場合は、(a) は false。
- (17) a. $[x \ y \text{ かわいい犬}]\text{を抱いた女の子}]\text{が立っている。}$
 $[x \text{ かわいい}]\text{犬}]\text{を抱いた女の子}]\text{が立っている。}$
- (18) 修飾語は、必ずしも隣接している名詞に係るとは限らない。
- (19) かわいいリボンをつけた犬を抱いた女の子が立っている。
- (20) a. $x \ y \ z([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [z=\text{リボン}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [y=z \text{ をつけている}] \& [z=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
b. $x \ y \ z([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [z=\text{リボン}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [y=z \text{ をつけている}] \& [y=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
c. $x \ y \ z([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [z=\text{リボン}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [y=z \text{ をつけている}] \& [x=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
d. $x \ y \ z([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [z=\text{リボン}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [x=z \text{ をつけている}] \& [z=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$
e. $x \ y \ z([x=\text{女の子}] \& [y=\text{犬}] \& [z=\text{リボン}] \& [x=y \text{ を抱いている}] \& [x=z \text{ をつけている}] \& [y=\text{かわいい}]) [x \text{ が立っている}]$

f. x y z ($[x=女の子]$ & $[y=犬]$ & $[z=リボン]$ & $[x=y$ を抱いている] & $[x=z$ をつけている] & $[x=かわいい]$)] x が立っている

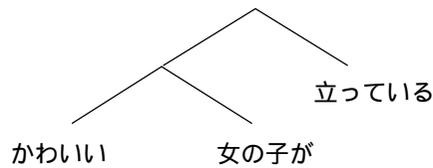
(21) (19)の文で(20e)の解釈をすることは不可能である。

- (22) a. $[x$ $[y$ $[z$ かわいいリボン]をつけた犬]を抱いた女の子]が立っている。
 b. $[x$ $[y$ かわいい $[z$ リボン]をつけた犬]を抱いた女の子]が立っている。
 c. $[x$ かわいい $[y$ $[z$ リボン]をつけた犬]を抱いた女の子]が立っている。
 d. $[x$ $[z$ かわいいリボン]をつけた $[y$ 犬]を抱いた女の子]が立っている。
 e. * $[x$ $[y$ かわいい $[z$ リボン]をつけた $[y$ 犬]を抱いた女の子]が立っている。
 f. $[x$ かわいい $[z$ リボン]をつけた $[y$ 犬]を抱いた女の子]が立っている。

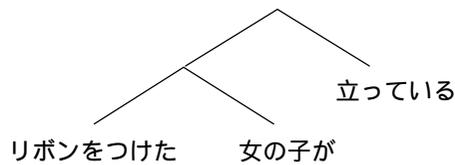
(23) X が Y を修飾している場合、少なくとも次のような樹形図になっていなければならない。



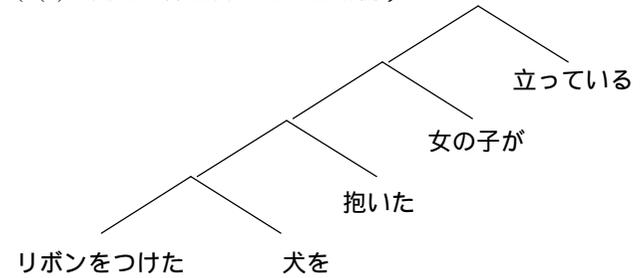
(24) a. (=1a))



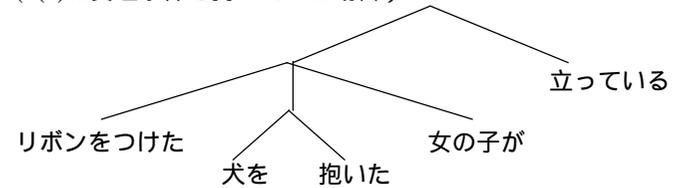
b. (=1b))



(25) a. (=4)の真理条件を持っている場合)



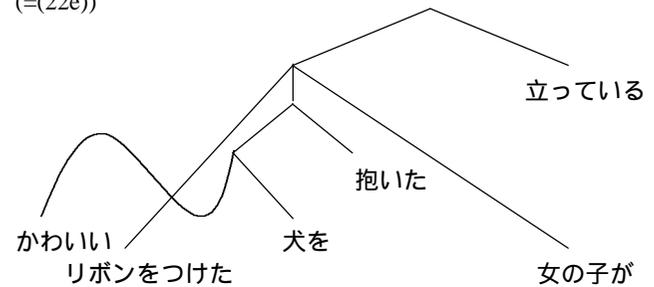
b. (=5)の真理条件を持っている場合)



[小テスト]

ここでの書き方にしたがって、(22a,b,c,d,f)の樹形図を書いてみなさい。

(26) (=22e))



(27) 樹形図の線は交わってしまてはいけません。

[宿題]

(27)を仮定するということは、(26)の場合に限らず、一般的にこの制約が成り立つと主張するということである。最低3つの例文をあげて、その主張を裏付けなさい。もしくは、この主張の反例と思われるものが見つかれば、その例文をあげて反論しても構いません。